

授業科目	家族関係学	2 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	(土倉玲子) (-) e-mail : -	非常勤講師 連絡担当教員	白土明子 (教育研究棟 II 828 号) e-mail : ashira@sapmed. ac. jp
担当教員			
概要	<p>家族は生活の原点であり社会の最小単位としてとらえられており、国の政治、経済や社会状況に影響され変化する。本科目では、家族の構造・機能やライフサイクルの変化を理解し、我が国における家族の形態や機能の変遷を概観する。現代までの家族の変容、結婚、夫婦の役割意識の変化、介護や社会制度についての理解に基づき、家族が抱える課題について学習し、家族の健康を維持するための保健医療職の役割について学ぶ。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 戦後日本家族のマクロな変動について説明する。</li> <li>2. 家族の諸機能について説明する。</li> <li>3. 現代家族のケア事情について説明する。</li> <li>4. 家族の健康と危機への対応について説明する。</li> </ol>		
関連科目	臨床心理学、ジェンダー論、ヘルスアセスメント2		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	提出物	80%	提出物：ワークシートおよびレポート 学習参加態度：グループ学習への参加状況
	学習参加態度	20%	
教科書	<ol style="list-style-type: none"> <li>①岡元行雄、川崎澄雄 [2014 年・2,700 円] 「新パートナーシップの家族社会学」 学文社</li> <li>②土倉玲子 [2012 年・1,404 円] 「夫ががんになったら」 北海道新聞社</li> </ol>		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	講義ではグループ・ディスカッションを取り入れています。他人のこととしてではなく、自分の家族や、自分がこれから保健医療で関わる家族について考えながら受講すること。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ガイダンス 家族の形態と特徴 家族のライフサイクルの変化と家族の危機	事後：ワークシートの記載	講義・ グループ 学習	土倉
2	結婚に対する意識、配偶者選択、パラサイト・シングルが存在	事後：ワークシートの記載	〃	〃
3	結婚生活の実情と離婚理由	事後：ワークシートの記載	〃	〃
4	夫婦および家族についての研究から日常生活に役立つ所見の紹介 専業主婦の位置づけや機能	事後：ワークシートの記載	〃	〃
5	家族の役割構造、勢力構造、情緒構造	事後：ワークシートの記載	〃	〃
6	子どもの養育、介護、社会支援	事後：ワークシートの記載	〃	〃
7	家族の形態や機能の変化と家族のゆくえ 夫と妻の両方の立場からの家族ストレス、職場ストレス	事後：ワークシートの記載	〃	〃
8	現代家族の課題と健康への影響について	事後：ワークシートの記載	〃	〃